

地域運営組織について

総務省 地域力創造グループ 地域振興室

地域運営組織（RMO）の形成・運営

R 9 概算要求額：31百万円

※RMO：Region Management Organization（R 8 当初予算額：30百万円）

【定義】地域の暮らしを守るため、地域で暮らす人々が中心となって形成され、地域内の様々な関係主体が参加する協議組織が定めた地域経営の指針に基づき、地域課題の解決に向けた取組を持続的に実践する組織

- 高齢化による生活機能の低下や人口減少・過疎化による集落の生活支援機能の低下が進む中、地域の主体がバラバラに取り組むのではなく、多様な主体が参画し分野横断的に活動する「地域運営組織（RMO）」の形成・持続的な運営が地域づくりのインフラとして重要
- 活動内容は、高齢者交流サービス、声かけ・見守りサービス、買い物支援、公共ライドシェアなど多様
- 全国には8,587組織、地域運営組織が形成されている市区町村数は903団体（令和7年度総務省調査）

地域運営組織の形成及び持続的な運営に関する取組の推進

- 地域運営組織に対して、地方公共団体がより効果的・効率的に支援できるよう、小田切明治大学教授を座長とした調査研究を行うとともに、全国セミナーの開催等（※）により先進事例の全国展開を図ることで、地域運営組織の更なる形成促進や持続的な運営に向けた取組みを後押し

※ 令和8年度は北海道、群馬県、三重県でハイブリッド開催



地域運営組織（RMO）の活動事例

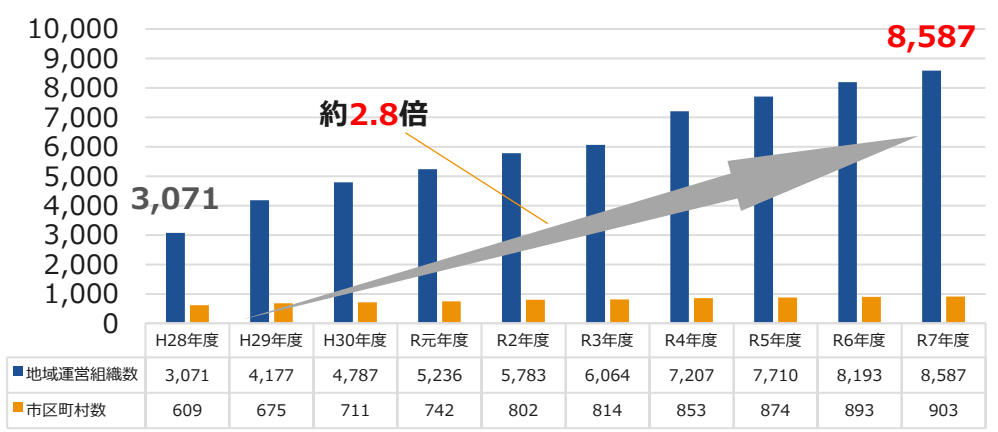
（特非）きらりよしじまネットワーク（山形県川西町）

- 生活関連情報をワンストップで収集できるアプリ等のICT技術を活用した高齢者の見守り、子ども食堂、地産地消や移動販売による買い物支援、児童クラブ事業など住民の生活支援活動を実施
- 地域の若者（約30人）が事務局として参加し、住民の話し合いを運営、アイデアを集約し、生活に根差した事業を展開している



地域運営組織（RMO）の形成数等の推移

（単位：団体）



地域運営組織（RMO）全国セミナー



総務省

Ministry of Internal Affairs and Communications

参加無料
オンライン
同時開催
(事前申込制)

総務省主催 地域運営組織 全国セミナーin津 2026

日時 **9/29** (火) 13:30～17:00

会場 ホテルグリーンパーク津 6F 「葵/橘/藤」

※会場の駐車場には限りがございます。公共交通機関でお越しください。

プログラム

- 総務省施策説明 総務省 地域力創造グループ 地域振興室
- コーディネーターによる基調講演

NPO法人
みんなの集落研究所 首席研究員

あべ のりこ
阿部 典子



- 事例発表
 - 名張市 地域環境部 協働のまちづくり推進室
 - 特定非営利活動法人 薦原地域づくり委員会
 - 一般社団法人 青蓮寺・百合が丘 地域づくり協議会
- パネルディスカッション

参加(会場・オンライン)は事前の申し込みが必要です。
右記の2次元バーコードよりお申込みをお願いします。

申込期間は **8/26(水)～9/22(火)**です。

※会場参加者は先着順(50名程度)とさせていただきます。
※オンライン参加者へは、ご登録のアドレスにURL等を送付いたします。
※会場の駐車場には限りがございます。公共交通機関でお越しください。



総務省

Ministry of Internal Affairs and Communications

参加無料
オンライン
同時開催
(事前申込制)

総務省主催 地域運営組織 全国セミナーin札幌 2026

日時 **10/20** (火) 13:30～17:00

会場 ACU札幌 「大研修室1606」 (アスティ45 16F)

※会場の駐車場には限りがございます。公共交通機関でお越しください。

プログラム

- 総務省施策説明 総務省 地域力創造グループ 地域振興室
- コーディネーターによる基調講演

おだぎり とくみ
明治大学 農学部 教授 **小田切 徳美**



- 事例発表
 - 鷹栖町 まちづくり推進課 地域振興係
 - NPO法人 ミナといかん
 - 地方独立行政法人 北海道立総合研究機構
- パネルディスカッション

参加(会場・オンライン)は事前の申し込みが必要です。
右記の2次元バーコードよりお申込みをお願いします。

申込期間は **9/16(水)～10/13(火)**です。

※会場参加者は先着順(50名程度)とさせていただきます。
※オンライン参加者へは、ご登録のアドレスにURL等を送付いたします。
※会場の駐車場には限りがございます。公共交通機関でお越しください。



全国市町村長サミット

R9 概算要求額：9 百万円
(R8 当初予算額：9 百万円)

人口減少・少子高齢化社会の進行や地域コミュニティの脆弱化など困難な課題に直面している中であっても、持続可能な活力ある地域社会の実現に向けて、これまで以上に官民連携等による地域活性化が求められています。このため、全国の市町村長等が一堂に会して議論・交流を行うことを通じて、地域活性化の一層の進展・普及を図ることを目的に、例年、全国市町村長サミットを開催しています。

令和8年度 開催概要

13:00 - 13:20 開会挨拶

総務省挨拶／新潟県挨拶

13:20 - 14:20 基調講演

多様な主体の参画による「縮充」のまちづくり
作野 広和 島根大学教育学部 社会科教育専攻 教授

14:40 - 17:20 分科会

2つのテーマの分科会に分かれ、各分科会のコーディネーターと発表される市町村長の方々に、取組事例の発表と意見交換を行っていただきます。

第一分科会 地域おこし協力隊

コーディネーター 稲垣 文彦 公益社団法人ふるさと回帰・移住交流推進機構
渉外担当副部長 博士(工学)

事例発表者 第1部 14:40-15:50 神田 一秋 菅原 茂
新潟県阿賀町長 宮城県気仙沼市長
第2部 16:10-17:20 木下 喜人 門間 雄司
山梨県丹波山村長 兵庫県豊岡市長

第二分科会 関係人口を巻き込んだ、地域の暮らしを守る取組

コーディネーター 中島 みき 面白法人カヤック 執行役員
ちいき資本主義事業ユニット長

事例発表者 第1部 14:40-15:50 都竹 淳也 山崎 出
岐阜県飛騨市長 高知県馬路村長
第2部 16:10-17:20 久保田 郁夫 篠田 洋司
新潟県糸魚川市長 山口県美祿市長

17:40 - 18:50 市町村長交流会

市町村長に意見交換、情報交換をしていただく交流会を実施します。

11月9日会場
(オンライン参加可)

朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター
(新潟市中央区万代島6-1)

2026年11月

9 月曜日
サミット

視察の流れ

※参加人数により視察順が入れ替わる可能性があります。

1日コース・半日コースからお選びください。(1日コースは昼食代各自負担)

8:30

出発(8:30朱鷺メッセ⇒8:50新潟駅)

10:00 - 11:40

1 シティホールプラザ アオーレ長岡
2 米百俵プレイス ミライエ長岡

11:40 - 13:00

1日コース 昼食・移動
半日コース 終了(11:40長岡駅⇒12:50新潟駅⇒13:20新潟空港)

13:00 - 14:40

3 燕市産業史料館
4 うさぎもちハレラテつばめ

14:50 - 15:30

5 燕三条地場産業振興センター

15:30 - 17:00

1日コース 終了(15:40燕三条駅⇒16:30新潟駅⇒17:00新潟空港)

2026年11月

10 火曜日
現地視察

専用サイトよりお申し込みください

専用サイトは下記URLまたはQRコードから
<https://app.itto.co/summit2026-niigata/>
※手話通訳や要約筆記が必要な方はお申し出ください



申込締切日

2026年

10月16日(金)

全国の市町村長だけでなく、地方公共団体職員やご興味のある方など、どなたでもご参加いただけます！